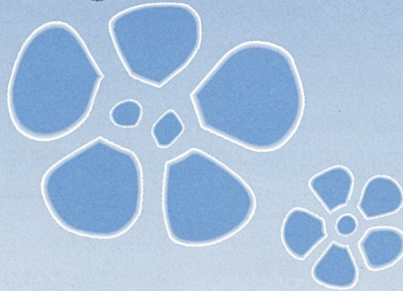


# 生活中心教育研究

第8号

2006年7月

(H18)



## 巻頭論説

太田 俊己：日本生活中心教育研究会のこれから	1
～特別支援教育と本研究会で大切にすべきこと～	

## 特集：訪問教育の生活づくり

### 【論説】

中坪 晃一：「訪問教育」における生活づくり	5
～子どもの思いに寄り添い、今を豊かに～	

### 【実践研究】

佐々木千鶴：笑顔が見たくて、そして「もういっかい」が聞きたくて	12
峯岸 妙子：単元「那須へ行こう」	18
大原 七生：紙すきをしよう～主体的な活動とその広がりを目指して～	26
古平 玲子：じっくりゆっくりかかわりながら	30
～訪問教育部Aくんのスクーリングから得られる学校生活～	
足利谷ゆき・遠藤由香：より多くの経験や人とのかかわりを求めて	35
～一人一人の個性を生かした「生活のテーマ」を取り入れて～	
大塚 素代：劇遊びを生活の中心において	44
～在宅学習と合同スクーリングの流れの中で～	
島扇 徑子：病院で生活する生徒の「生活づくり」の一步として	51
～毎日が楽しみ「あおぞら広場」～	

## 着眼大局

遠藤 寿明：本物の教育を目指し、今を生きる	58
-----------------------	----

## 事務局通信

- ・第8回生活中心教育研究会の報告
- ・平成17年度生活中心教育研究会総会の報告
- ・第15回生活中心教育研究会・熊本会場の報告
- ・次号予告と投稿募集
- ・編集後記